

平成 31 年 2 月 21 日時点

所管課	学校教育課	担当班	指導班
-----	-------	-----	-----

(1) 事務事業の概要				
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない			
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 19 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 1 年度～ 平成 1 年度まで	●地域に居住する学習障害・注意欠陥多動性障害・高機能自閉症等を含めた発達障害のある幼児児童生徒に対する総合的支援体制の整備を促進する。 ●学校と福祉、医療、労働等の関係機関の委員から構成される特別支援連携協議会及び専門家チーム・巡回相談員を設置し、本事業を推進する。特別支援連携協議会（年3回）、専門家チーム会議（年5回）を実施し、就学支援システムの構築、特別支援教育講演会の開催、巡回相談員の派遣等を行い、①総合的なネットワークづくり②発達障害のある幼児児童生徒の個別ニーズへの適切な支援③関係職員の専門性の向上の3点について継続して取り組む。			
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等		
平成14年文科省調査で、小・中学校の通常学級の在籍児童生徒のうち、特別な教育の支援を必要としている者が約6%程度いることがわかり、適切な指導及び必要な支援は、学校教育における喫緊の課題となった。17年度からは、発達障害者支援法が施行された。	国は、平成23年に改正障害者基本法を施行し、平成26年には国際法である障害者の権利に関する条約を批准した。インクルーシブ教育システムの構築が重要ななか、平成28年4月に障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行された。	巡回相談、市内各小・中学校への学校巡回訪問を実施した学校からは、「校内の特別支援体制づくりに有効であった」という意見があった。さらに、継続し、学校巡回訪問については早期の実施を望む意見があった。		

(1) 事業費の詳細(29年度の決算)		単位:千円
1 報償金	124:民間からの委員の会議費、巡回相談費	
2 消耗品費	21:旭市就学支援ステップシート用紙等	
3 食糧費	15:会議飲料費	
(2) 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

前年度 増減理由	民間からの委員の会議の欠席があったため。巡回相談の回数が減ったため。
-------------	------------------------------------

手 段	① 主な活動
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 連携協議会議を年3回、専門家チーム会議を年5回実施。巡回相談員による巡回相談を2回実施。学校巡回訪問を市内20校、保幼巡回訪問を5施設実施。

③ 活動指標名		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
ア	巡回相談回数	回	3	3	3	2	3
イ	学校・保幼巡回訪問件数	件	—	—	19	25	25

	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)
目的	対象 市内各小・中学校教職員
	意図 特別支援教育に関する専門的な知見を得る
	対象 特別な支援を要する園児・児童・生徒
	意図 特別な支援を要する園児・児童・生徒を早期発見・支援し、さらに巡回相談へつなげる。

④ 成果指標名		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
ア	会議によって周知された事案件数	件	4	4	4	2	3
イ	巡回訪問後のアンケート調査の肯定的評価の割合	%	—	—	95.0	100.0	95.0

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			④
	普通			
	小さい			

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

Year	ア (Ratio)	イ (Ratio)
H26	4.0	0.0
H27	4.0	0.0
H28	4.0	4.8
H29	2.0	5.0
H30 (forecast)	3.0	4.8

評価内容	① 進捗状況 ☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難														
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	比較	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
			成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	26年度		27年度	28年度	29年度	30計画	
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		中小全校を訪問する学校巡回訪問の実施により、支援の必要なケースに早期に助言することができたため、個別事案を扱う件数が減少したため			成果動向	ア	0	0	0	△2	1			
					イ	—	—	95.0	5.0	△5.0					
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他()								
		30年5月～10月	巡回相談員による「かけはし訪問(学校巡回訪問)」を市内小中学校20校及び、希望する市内保育園・幼稚園4施設に実施、さらに希望がある際は、複数の巡回を行い助言に当たる。				早期発見・早期支援のための巡回訪問を全小・中学校、および、希望により保育園(所)幼稚園に実施し、個別の巡回相談につなげる。特別支援担当者の専門性向上にむけた研修会を実施する。								